

みみょう幼稚園だより



難局にこそ真価を

幼稚園に子どもたちが帰ってきてから2週間、子どもたちは寒さにも負けず、保育室でも園庭でも、元気いっぱい生きいきと過ごしています。ようやく日常を取り戻したとはいうものの、まん延防止措置の延長も決まり、生活発表会をはじめとして、1月2月の行事を大幅に変更することになりました。お家の方でも、いろいろと予定を立てておられたことと思います。お仕事の調整など、ご迷惑をおかけしていることも多々あるかと思ひます。今後も何らかの変更がある場合には、出来るだけ早め早めにお知らせをして参ります。そして、何よりもこの難局を皆さんと一緒に乗り越えていきたいと強く願っています。子どもの成長の日々に、待ったはありません。みんなの知恵と力を結集させて、「今年も豊かな幼稚園生活が送れた」「しっかりと成長できた」と実感していただけるように、様々な工夫をしながら、コロナ禍以前以上に豊かな経験が出来る日々にしていきたくと思ひます。時には、保護者の皆さんにご協力やご支援のお願いをすることもありますが、一緒に乗り越えていただくことによって、大きな喜びや充実感もきっと共有できるのではないのでしょうか。お子さんだけでなく、親としても保育者としても、この機を逃さず、共に喜び、共に成長できる日々にしていきましょう。



1.20 ダイナミックに絵の具あそびに挑戦！
満三・年少さん



1.20 寒さもなんのその、楽しくお料理♪
年中さん



1.18 「ここでもできるよ。」
高い鉄棒から、順番に全部でやって見せてくれました。

屋外あそびも楽しいね

毎日、お友だちと一緒に元気いっぱい過ごしている子どもたちは、園庭で遊ぶことも大好きです。ボールあそび、砂あそび、鬼ごっこ…、一人で黙々とサラ粉や土ダンゴづくりに熱中している姿も見られます。今は、季節がら、手作りたこあげや羽根つきなどにも挑戦しています。

屋外あそびでは、身体を思いきり動かすことができるので、強さやバランス、しなやかさ等も身につけることができます。この時期にしっかりと屋外あそびをしておくことは、身体だけでなく関わる力や考える力の発達においても、とても大切なことです。子どもたちのあそび方は実に様々で、その時どきで、ブームがあったり、一年を通じて大好きなあそびを継続したりなど、それぞれの姿が見られます。先生たちは、保育室と同様に、新しいあそびにも挑戦できるような用具や環境を用意していきますが、子どもたち自身が、やりたい、やってみようとする主体的に行動することを何よりも大事にしています。中には、粘り強く何度も何度もうんていや鉄棒に挑戦し続けてできた“がんばりまめ、がんばりだこ”を見せてくれる子ども

もいます。砂あそびも、レストランになったり、カレーやさんになったり、砂の量や色、水の量などを工夫しながら、日を追うごとに進化していきます。一人ひとりがより楽しむために、身体も頭も心もフル回転をさせているのです。泥んこだらけの手や足も、すりむいたひざこぞうも、立派な成長の証と言えるでしょう。今は、放課後の園庭開放もお休みさせていただいていますが、お子さんのあそぶ姿の細部にまで目を向けていただき、成長の証をたくさんたくさん見つけていただけたらと思ひます。